

世界に平和を・戦争の基地はいらない

横田基地ミニ情報 2017.12.5 No. 309 東京・羽村平和委員会発行



12月2日、3日の土曜日、日曜日も F/A-18戦闘攻撃機4機が爆音！



11月18日、19日の土日も4機のF/A-18戦闘攻撃機が爆音をまき散らしましたが、また12月2日、3日の土日に4機のF/A-18戦闘攻撃機が爆音をまき散らしました。



12月2日（土）、16時07分にF/A-18Dが2機（DT08とDT04）、着陸しました。16時19分にF/A-18C（WT11）とF/A-18D（DT11）2機がローパスし、16時21分に着陸しました。



12月3日（日）、12時21分にF/A-18C（WT11）とF/A-18D（DT11）2機が離陸。12時23分にF/A-18Dが2機（DT08とDT04）、離陸しました。13時35分にF/A-18C（WT11）とF/A-18D（DT11）2機が帰ってきました。14時28分にF/A-18C（WT11）とF/A-18D（DT11）2機が離陸しました。

12月1日（金）もF/A-18戦闘攻撃機が飛来していました。

11月30日(木)～12月10日(日) サムライ即応監査(SRI) 米韓演習も支援！

（北関東防衛局から周辺自治体への情報提供：11月30日の抜粋です。）

- 運用時間帯（6時～22時）外の航空機の離着陸が予定されている。
- 運用時間帯（6時～22時）において、基地内全域でのPAS（パブリック・アドレス・システム）及び管理地区でのGBS（グラウンド・バースト・シミュレーター）の使用がある。
- 12月4日（月）～8日（金）の間に米韓軍が合同で実施する飛行訓練「ビジラント・エース18」を支援する予定がある。（「ビジラント・エース18」については裏面参照。）
- 夜間に重機を用いた作業を行う予定がある。

※ SRI：有事における即応態勢の維持強化及びORE（運用即応演習）に対する監査。

※ ORE：仮想戦闘環境における基地の機能テストであり、テロ攻撃や航空機又は地上戦闘力等による木野への攻撃を想定し、実践的な即応態勢をとることを訓練するもの。

※ PAS：大音響の出る特殊なスピーカーを使用し、サイレンや広報を行う。

※ GBS：地上爆発装置。金属製の容器内で爆発物を破裂させ、爆発音を発生させる。



横田基地 滑走路を修理する

11月15日、横田基地。滑走路はどんなに小さい欠陥でも補修することが大切。破片がエンジンに吸い込まれ、タイヤを破裂させてはいけなから。（米空軍横田基地HP）

米韓が史上最大規模の合同訓練(ビジラント・エース) 230機が参加 (No.309 裏面)

12月4日から8日まで行われる米韓両空軍の合同訓練「ビジラント・エース18」は、12,000人の米兵と230機の航空機が参加します。F-22ステルス戦闘機6機、F-35ステルス戦闘機18機、EA-18G電子戦機6機、F-15C戦闘機10余機、F-16戦闘機10余機、等々です。(写真はF22、F35)

「訓練期間、これらの航空機は敵航空機の空中浸透を遮断して移動式発射台(TEL)等の北朝鮮の核・ミサイルの脅威の核心標的を精密打撃する演習を集中的に行うことになる。韓国の首都圏を脅かす北朝鮮の長射程砲を打撃し、海上に浸透する北朝鮮軍特殊部隊を遮断する演習も行う。」「グアムに配備された米空軍の長距離戦略爆撃機B1Bランサー編隊も訓練期間朝鮮半島上空に展開され米艦空軍の戦闘機の援護を受けて爆撃演習を行うものと発表された。」と韓国聯合ニュース。



「今回の訓練は北朝鮮が11月29日、ICBM(大陸間弾道ミサイル)級の火星15型を発射したので、北の核・ミサイルの脅威に対する米韓同盟の強力な対応意思を誇示する契機となるものとみられる。」

一方、朝鮮労働党機関紙の労働新聞は3日、合同訓練に対し、個人名での論評で「緊張している朝鮮半島情勢を、核戦争勃発の局面に追い込む危険な挑発盲動だ」と反発。「われわれに対する全面的な挑戦で、核戦争に火を放つ雷管になり得る」と威嚇したそうです。

軍事ではなく、外交で解決を！もしものことがあったら、どれほど悲惨な状況になるのか。

2017年 米軍機墜落 世界で22件 死者数37人(昨年同時期の2.3倍)

「2017年に米軍機が非戦闘地域で通常訓練中に起こした墜落事故は22件で、昨年同時期比で約38%増加した。米大手テレビ局フォックス・ニュースが25日、報じた。死者は37人で、昨年同時期比2.3倍に増えた。空中給油輸送機KC130Tやオスプレイ、ヘリなど歯止めがかからない墜落事故に米メディアや議会が警鐘をならしている。」(沖縄タイムス)(表は分かった事故だけ)

4月17日	1人	UH-60	陸軍	メリーランド州
7月10日	16人	KC130T	海兵隊	ミシシッピ州
8月5日	3人	MV22	海兵隊	オーストラリア
8月15日	5人	UH60	陸軍	ハワイ・オアフ島
10月1日	2人	T-45C	海軍	ミシシッピ州
11月20日	1人	T-38	空軍	テキサス州
11月22日	3人	C-2	海軍	沖大東島沖



米軍の横暴がますますひどくなってきた なぜなのか

知ってはいけない
隠された日本支配の構造
矢部宏治

この国を動かす
「本当のルール」
とは?

私たちの未来を
危うくする
「9つの掟」の正体

トランプ大統領が来日して「日本はアメリカから大量の兵器を購入しろ」と言えば「はい」と答える安倍首相。日本の首相は、なぜアメリカ言いなりなのか。これは根が深いようです。「日米指揮権密約」があって、日本の指揮権はアメリカが握っているようなのです。沖縄の民有地で米大型ヘリが炎上しても、日本に捜査権がないという理不尽なことも、日米間では当たり前のことのようにです。本を読んで、打開の方法を見つけませんか。